

令和2年度北薩地区フレッシュ研修（初任校研修）研究授業研修【道徳科】

（令和2年10月30日金曜日）

1 目的

研究授業や授業研究等をとおして、指導方法等の改善を図るとともに理解を深め、指導力の向上に役立てる。

2 会場

長島町立平尾小学校
薩摩川内市立川内中央中学校

3 出席者

小学校教諭32人
中学校教諭10人

4 研修の様子



研究授業（代表授業）

長島町立平尾小学校
河野 裕通 教諭（5年）



授業研究・研究協議



初任者代表挨拶（会場校へのお礼）

さつま町立盈進小学校
平崎 典子 教諭



研究授業（代表授業）

薩摩川内市立川内中央中学校
荻 真子 教諭（3年）



授業研究・研究協議



初任者代表挨拶（会場校へのお礼）

出水市立米ノ津中学校
高野 詩織 教諭

【初任者の感想】

- 学校全体で、自分の道徳科の授業について考えたり、どのような手立てを講じればよいか工夫したりする中で、道徳科の授業を考えることが少し楽しくなった。
- 研究協議や指導助言をしていただいた意見を生かして、「考え、議論する道徳」を展開していけるように、試行錯誤を重ねていきたい。
- 研究授業では、8人の児童が、自分の考えや思いを巡らせる姿に感動した。
- 授業者が活用している「自分シート」や「振り返りシート」など、児童が考えをもったり、整理したりするために有効なものが多かった。
- 授業者と生徒との関係がとてもよく築かれており、生徒の発表が活発で素晴らしかった。
- 生徒の意見の交流から更に議論にもっていくには、葛藤や衝突が生じる場面を取り上げ、異なる意見同士が多面的・多角的に考える必要があると感じた。
- 初任者全員で集まる機会が少ない中で、授業について熱く語り、日頃の悩みを仲間で共有することができたのは、大変貴重な時間だった。